



TITLE:

京大東アジアセンターニューズレター 第591号

AUTHOR(S):

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター

CITATION:

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター. 京大東アジアセンターニューズレター 第591号. 京大東アジアセンターニューズレター 2015, 591

ISSUE DATE:

2015-10-19

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/200669>

RIGHT:

2015 年 10 月 19 日発行 第 591 号

CONTENTS

アジア自動車シンポジウム 2015 のご案内	2
中国経済シンポジウムのご案内	3
即身仏を訪ねてー①日本編：山形エリア	5
「モンゴルで芽生えたアメーバ経営」	11
上海街角インタビュー (100)	13
【中国経済最新統計】	16



アジア自動車シンポジウム 2015 のご案内

主催

京都大学東アジア経済研究センター

共催

東京大学ものづくり経営研究センター

東京大学社会科学研究所現代中国研究拠点

京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター

後援

京都大学東アジア経済研究センター支援会

アジア自動車シンポジウム 2015 2020 年中国自動車産業を予測する

—生産国基準とメーカー基準の両側面から—

■京都会場 2015 年 11 月 7 日(土) 13 時

京都大学経済学部三番教室(法経東館 2 階)

■東京会場 2015 年 11 月 9 日(月) 13 時

京都大学東京オフィス(品川インターシティA棟 27 階)

2020 年に中国の自動車生産台数はどこまで増大するかを予測する。

ただし、自動車生産台数を生産国基準とメーカー基準の二つの基準を使って予測する。生産国基準とは、一つの国で何台の車が生産されたかを数える方式であり、どのようなメーカー(国産メーカーか、外資メーカーか)が生産したかは無視している。通常、各国の自動車工業会が使用している国内生産台数に関する統計数値である。

他方、メーカー基準とは、その国の国産メーカーが世界全体で生産した台数であり、どこで生産されたか(国内か、海外か)は無視する。国産メーカーの国内と海外での生産台数での合計である。

2013～14 年の中国の自動車生産台数を生産国基準でみると、およそ 2200 万台前後であるが、メーカー基準では 1100 万台程度となる。では 2020 年にこうした数値はどのように変化するのか。本シンポではその予測に挑戦する。

13:00-13:20 挨拶

東京大学ものづくり経営研究センター ディレクター 新宅 純二郎

東京大学社会科学研究所現代中国研究拠点長 丸川 知雄

13:20-13:50 問題提起

京都大学 教授 塩地 洋 生産国基準とメーカー基準

13:50-15:20 第 1 部 2020 年の中国自動車産業

野村総合研究所 上級コンサルタント 張 翼 2020 年の市場予測と中国メーカーの海外生産

三菱総合研究所 首席研究員 野呂義久 2020 年の市場予測と中国メーカーの海外生産

フォーイン 中国調査月報編集長 平野孝治 中国の商用車の競争力

15:40-16:50 第 2 部 パネルディスカッション

野村総合研究所 張翼/三菱総合研究所 野呂義久/フォーイン 平野孝治 司会 塩地洋

16:50-17:00 閉会挨拶

17:10-18:30 懇親会

(みずほホール・法経東館地下 1 階) 参加費 2000 円(支援会会員は無料)

参加の御申込は、塩地 shioji@econ.kyoto-u.ac.jp に会場名、氏名・所属、懇親会出欠を御連絡ください。シンポジウムの参加費は無料、懇親会は 2000 円です。ただし支援会会員は懇親会も無料です。

東京会場は定員 150 名、京都会場 200 名です。お早めにお申し込みください。

中国経済シンポジウムのご案内

主催

京都大学東アジア経済研究センター

後援

京都大学東アジア経済研究センター支援会

中国経済経営学会

京都大学：中国経済シンポジウム 2015

中国における新たな改革・開放政策の展開

時 間： 2015 年 11 月 28 日(土) 13:30～18:00

場 所： 京都大学吉田校舎国際科学イノベーション棟 5 階
シンポジウムホール

使用言語： 中国語(日本語通訳あり)

参 加 費： 無料

中国経済はかつてなく世界の注目を集めている。中国が主導したシルクロード開発とアジアインフラ投資銀行(AIIB)の設立は途上国の経済発展に大きなインパクトを与えるだけではなく、世界の政治・経済秩序にも一石を投じ、大きな反響を呼んだ。一方、長期間にわたる高度成長の末、成長率の低下傾向が示されるようになり、その影響は世界中に広がってしまった。こうした中で、中国の株価の急騰と急落が生じ、それが世界同時株安につながったと言われている。今日の中国経済は一体どのような問題に直面しているのか。こうした問題をきちんと解決できるのか。中国経済は今後どのような方向に発展していくのか。さらに、日本経済にどのような影響を与えるだろうか。

こうした問題を議論するために、京都大学経済学研究科東アジア経済研究センターは中国の第一級の経済学者をお招きし、中国経済シンポジウムを開催することにした。講演とその後のディスカッションを通じて、中国経済の真相と行方を探っていきたい。

13:30-13:35 挨拶

岩本武和(京都大学経済学研究科科長)

13:35-13:50 問題提起：

劉徳強(京都大学地球環境学堂/経済学研究科教授)「中国経済の発展段階：日本との比較」

13:50-14:50 講演Ⅰ

張 軍(復旦大学経済学院院长・教授)「中国経済の課題と今後の改革」

14:50-15:50 講演Ⅱ

李 実(北京師範大学所得分配研究院執行院長・教授)「中国における所得分配と内需拡大」

15:50-16:00 ————— コーヒーブレイク —————

16:00-17:00 講演Ⅲ

王躍生(北京大学经济学院教授)「シルクロード開発、AIIB と新たな対外開放」

17:00-17:50 質疑応答

張 軍（復旦大学教授）
李 実（北京師範大学教授）
王躍生（北京大学教授）

17:50-18:00 閉会挨拶

宇仁宏幸（京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター長・教授）

18:10-19:40 懇親会

会 場： 未定

参加費： 2000 円(東アジア経済研究センター支援会会員は無料)

注意：シンポジウムの参加費は無料です。準備の都合上、参加ご希望の方は 11 月 22 日(日)までに氏名・所属・メールアドレス、及び懇親会参加の有無を東アジア経済研究センター事務局（ceaes2010@yahoo.co.jp）までお知らせください。

=====

講師紹介

■張軍教授



復旦大学経済学院学部卒、大学院復旦大学経済学院院长、教授、中国经济研究センター主任。『世界経済文匯』編集長。中国で最も影響力のある経済学者の一人で、中国の工業改革、産業発展、経済発展パターンの転換などの研究で多大な業績がある。2015 年 7 月 10 日、李克強首相が経済情勢に関する座談会を開き、9 人の経済学者と企業家から意見を諮問したが、張教授はその一人として意見を述べた。

■李実教授



南京大学経済学院学部卒、北京大学大学院修士課程を修了し、中国社会科学院経済研究所研究員を経て、北京師範大学経済・工商管理学院教授。現在、北京師範大学所得分配研究院執行院長。主な研究分野は経済発展論、労働経済学。近年の主な研究課題は所得分配、公共政策、貧困、労働市場など。特に所得分配に関する研究においては中国の第一人者である。中国における経済学研究の最高賞である孫冶方賞や国連人間開発賞などを受賞。中国政府の国家人的資源・社会保障部や国務院貧困救助弁公室の専門委員、海外の研究機関の研究員なども兼任。

■王躍生教授



北京大学経済学院学部卒業後、同大学院修士課程に進学。その後、助手、講師、副教授を経て教授に就任。現在、北京大学経済学院国際経済と貿易系主任、北京大学国際経済研究所所長。主な研究分野は世界経済と中国经济、国際企業制度と多国籍企業など。現在、中国世界経済学会常任理事、中国国際経済関係学会常任理事、中国ロシア東欧中央アジア学会常任理事などを兼任。中国主導のシルクロード開発の対象地域である中央アジア、東欧、ロシアなどの事情に詳しい。

即身仏を訪ねて－①日本編：山形エリア

15. OCT. 15

小島正憲

1. 今、なぜ、「即身仏」なのか。

即身仏とは、厳しい修行の末に悟りを開き、その後、衆生救済を願って、自ら断食し命を断ち、生きながらにして仏になっていった仏教修行僧のことである。なお、仏教界では、生きている間に悟りを開くことを即身成仏といい、即身仏とは別に考えられている。また、仏教修行僧が自力で命を断ち、その姿を後世に留めるものを即身仏といい、死後、他力で人工的あるいは偶然に、その姿を後世に残したものをミイラという。日本には即身仏が17体(9体が山形エリアに、4体が新潟エリアに、岩手・福島・茨城・岐阜に各1体)、現存していると言われており、それらはなぜか東北地方に集中している。日本以外では、ベトナムや中国に即身仏が現存していると言われて中国(長沙の馬王堆)など世界各地



日本は今、超高齢社会を目前にして、「今後の高齢者の身の処し方」を解決することが喫緊の課題となっている。またそのために高齢者自らの「死生観の確立」が急がれている。日本には、「檜山節考」に見られるような伝統がある。これを肯定的に見れば、かつての日本の高齢者のこの行為は、自らの生活共同体の存続を願って、自らの命を捧げて行くという気高い犠牲的精神の結果である。棄老とも呼ばれるこの習慣は、長野県の「姥捨て山」が有名だが、岩手県遠野市デンデラ野には、明治時代になるまで実際に残っていたという。私はこのことと、即身仏が東北地方に多いということは、無関係ではないと思う。

今回、私は自らの「高齢者としての死生観の確立」を目指して、即身仏をこの目で見てみたいと思い立ち、そのメッカである山形に赴いた。残念ながら時間の制約があって、9体のうち7体しか拝めなかったのですが、残りの2体の即身仏には、来年、お目にかかりたいと思っている。また新潟エリア

などにも赴きたい。なお私は来年、毎月、プチ断食を行おうと思っているので、即身仏の思想を感
覚的にも捉えやすくなると考えている。

2. 山形エリアの即身仏リストと所在地

①湯殿山総本寺大日坊金剛院瀧水寺 真言宗

住所：山形県鶴岡市大綱1番地

電話：0235-54-6301

即身仏名：真如海上人

②湯殿山注連寺 真言宗

住所：山形県鶴岡市大綱字中台92-1

電話：0235-54-6536

即身仏名：鉄門海上人

③不動山本明寺 真言宗

住所：山形県鶴岡市東岩本字内野388

電話：0235-53-2269

即身仏名：本明海上人

※拝観には事前予約必要

④湯殿山南岳寺 真言宗

住所：山形県鶴岡市砂田町3-6

電話：0235-23-5054

即身仏名：鉄竜海上人

⑤砂高山海向寺 真言宗 即身仏2体

住所：山形県酒田市日吉町2-7-12

電話：0234-22-4264

即身仏名：忠海上人：円明海上人

※火曜日休みのため注意

⑥巖龍山蔵高院 曹洞宗

住所：山形県西置賜郡白鷹町大字黒鴨

連絡先：常安寺 0238-85-0107

即身仏名：光明海上人 ※蔵高院には常駐住職が不在のため、拝観には事前に
常安寺に連絡し、要予約

3. 「即神仏」調査報告

①湯殿山総本寺大日坊金剛院瀧水寺 真言宗

即身仏名：真如海上人 湯殿山仙人沢で修行

入定年齢：1783年 96歳 出身階層：農民

幼少期より仏門

入定方法：地下に穴を掘って入定

入定動機：天明の大飢饉のとき、わが身を捨てて庶民を救うことを祈願



国道112号線を走っていくと、湯殿山の西北麓に大日坊がある。道案内の看板が随所にあ
り、わかりやすい。参拝者も多く、住職の説明も手際よく、おもしろい。住職は、さかんに「この
地方には即身仏が多いが、大日坊の真如海上人は、紛れもない即身仏である。手などには
血管が浮き出て見える。これが何よりの証拠である。他所の即身仏にはうさんくさいものもある」
と説明していた。

真如海上人は、寺の近くにある朝日村の進藤仁左衛門という農家の末弟で、若きころ、農
作業をしていたときに通りかかった武士に糞尿をかけてしまい、無礼討ちになりそうになっ
たが、逆に棒で殴り殺してしまったため、その足で大日坊に駆け込み出家したという。その後、
即身仏を志し、70余年間、木食など難行苦行を積み重ねたという。天明の大飢饉のとき、わ
が身を捨てて庶民を救うことを祈願、地下に穴を掘って、96歳で入定。3年3か月後に弟子や
信者が地中より掘り出し、これを洗い清め乾かして、今日まで2
20年以上、当寺に即身仏として祀られている。



②湯殿山注連寺 真言宗 即身仏名:恵眼院鉄門海上人 湯殿山仙人沢で修行

入定年齢 : 1829年 71歳 出身階層 : 川人足な
ど

入定動機 : 庶民救済 「われに祈願するものは諸願を成就せしめん」

大日坊拝観後、道なりに5分ほど走ると注連寺の看板がある。このお寺も参拝客が多いよ
うである。この寺の一角には月山の頂きを望むことができる部屋がある。住職が、「湯殿山の
即身仏修行の中心はこの寺であり、それはこの景観にある」と話されたが、そこに座り絶景に
見惚れていると、たしかに身も心も穏やかになっていき、即身仏に近づいていくような感じが
した。

鉄門海上人は、若きころ川人足をしており、遊女をめぐって武士と喧嘩し、これを殴り殺し
て注連寺へ逃げ込んだという。その後、庄内地方や全国各地のいたるところで庶民のため
に善行を積んだ。ことに加茂から大山へ抜ける坂道が険しくて人びとが難儀しているのを見
て、この加茂坂を開鑿することを決意、それを成功させた。今では、新たなトンネルが掘られ、
当時の道は通行禁止状態になっているが、新道の出口
に頌徳碑が建てられている。また鉄門海上人が江戸に
出たとき、おりから眼病が流行っていたため、自らの左眼
をくりぬき、湯殿山大権現に差し出し、「江戸中の眼病人
を救い給え」と祈願した。鉄門海上人が恵眼院という院
号を贈られたのはそのためだという。たしかに注連寺に
ある鉄門海上人のお顔は、左眼が深くえぐられ



《 加茂坂にある頌徳碑 》

た感じであった。

鉄門海上人は、60歳近くなったとき、注連寺に戻り、五穀を断ち即身仏修行に入ったが、
修行中にふとした風邪がもとで急死した。鉄門海上人は、今わの際に、「われに祈願するも
のは諸願を成就せしめん」と言い残して息を引き取ったという。そこで寺僧たちが遺体を海
岸へ運び、数日間、海水につけて洗った後、注連寺の天上に吊して乾燥させ、即身仏とし

て祀った。

③不動山本明寺 真言宗 即身仏名：本明海上人 湯殿山仙人沢で修行

入定年齢：1683年 61歳 出身階層：下級武士

入定方法：石室を作り入定

入定動機：庶民救済 「国家万民を救わんがため」

注連寺から十王峠を越え、曲がりくねった山中の道を30分ほど走り、人里に出たところに本明寺がある。この寺は即身仏を有料公開しておらず、道案内の看板などもないため分かりづらい。事前に電話でお願いし、住職か住職のお母さんのご都合がつけば、快く拝観させていただき、本明海上人のお話をうかがうことができる。

本明海上人は、庄内藩の下級武士であり富樫吉兵衛と名乗っていた。39歳の時、藩主の病気平癒祈願のため、数名の同僚と共に湯殿山代参を命じられた。吉兵衛はこの湯殿山登拝で靈感を受け、そのまま注連寺に入り出家した。のちに仙人沢に参籠して数千日の木食行を行った上、東岩本(現在の本明寺の場所)に移り、さらに難行苦行を続けた。そして1683年、61歳のとき、「わたしは即身仏になろうと思う。末世の人たちが真心から信心すれば、どんな願いでも遂げさせてやろうぞ」と遺言し、本堂から100mほど離れた水はけのよい地を自らの入定所を定め、松板で棺を作り、「3年3か月後にこの塚を開くように」と言い残し、地中入定した。その遺言通り、3年3か月後に塚を開けたところ、本明海上人の即身仏姿を拝むことができた。ただし白骨化し崩壊寸前だった。現在、この入定所跡には、本明海上人の頌徳碑が建てられている。



④湯殿山南岳寺 真言宗 即身仏名：鉄竜海上人 湯殿山仙人沢で修行

入定年齢：1881年(明治14年) 62歳 ※公的には1868年(明治元年)入定

出身階層：農民

入定動機：「入定留身して後の世の人々を済度せん」との誓願

山形自動車道の鶴岡 IC から出て、15分ほど走った市内中心部に南岳寺がある。周囲は閑静な住宅地である。

鉄竜海上人は秋田県仙北郡横堀村の進藤家の子として生まれ、長じて同寺の住職となった。鉄門海上人の加茂坂道の改修工事を完成させるなど、各地で善行を積んだ。55歳のとき、湯殿山仙人沢に山籠し、「入定留身して後の世の人々を済度せん」と誓願し、即身仏になるために五穀断ちなどの木食行を行っていたが、病気になったため中止、そのまま明治14年に病没し、同寺の墓に埋葬された。ところがその後、鉄竜海上人がいろいろな人の夢枕に立ち、「即身仏になれぬ」と嘆いたので、寺の関係者たちが墓から取り出し、内蔵を摘出し、注連寺へ運び、天上から吊し乾燥させたという。近年になって、この鉄竜海上人の尊体を調



査した科学者によれば、たしかに腹が横真一文字に切られ、そこに石灰が詰められていたので、この話しは真実だと検証された。なお、明治初年に墳墓発掘禁止令が發布されたため、公的には明治元年入定とされ、鉄竜海上人のご尊体を拝観できるようになったのは、大正年間になってからだという。

⑤砂高山海向寺 真言宗 即身仏2体 忠海上人 円明海上人

忠海上人 入定年齢 1755年 58歳 出身階層 : 農民

円明海上人 入定年齢 1822年 55歳 出身階層: 農民 羽黒山の山伏

入定方法: 共に湯殿山仙人沢で修行後、地下石室に入定

両上人の入定動機 : わが余生は衆生済度のため

木食行に身を投じ 一切衆生の精神苦 病苦 解脱の杖となり

願いをかける者には すべての諸願を成就せしめん

国道112号線を北上し、酒田市に入り、酒田市役所の前を通って西進すると、日和山公園の近くの小高い岡の上に海向寺がある。海向寺は火曜日が休観日のため、注意が必要である。また同寺は注連寺の鉄門海上人が住職をしていた時期があり、鉄門海上人の遺物がたくさん展示してある。

忠海上人は鶴岡市鳥居町の富樫条右衛門の子で、本明海上人の甥にあたる。長く海向寺の住職を勤め上げたのち、仙人沢で千日の木食行を行い、即身仏となるため、同寺の地下石室に入って入定したが、死後、生乾きであったため、注連寺の六角堂に運び、ご尊体の周囲にろうそくを灯しよもぎを焚き、乾燥させたという。したがって忠海上人のご尊体は全身が黒ずんでいる。

円明海上人は東田川郡栄村家根合の佐藤六兵衛の子で、初め羽黒山の山伏となったが、鉄門海上人を慕って、同寺に入り、鉄門海上人と共に、全国を布教行脚した。後に、海向寺第九代の住職を勤め上げ、即身仏となるため、同寺の石室に入って入定したが、生乾きであったため、忠海上人同様、注連寺に運び燻製し、その上に柿渋を塗ったという。したがって円明海上人のご尊体はピカピカしている。

両上人の特徴は、ともに海向寺の住職を勤め上げ、50歳でその職を辞され、即身仏になるための修行に入られていることである。これは人生50年の時代の「高齢者の身の処し方」の一つであったのであろう。なお、両上人の他にも、同寺の歴代住職の中には、即身仏を志し修行をしたが、その苦しみに耐えきれず途中で挫折した僧が何人もいたという。



⑥巖龍山藏高院 曹洞宗 即身仏名 : 光明海上人 湯殿山で修行

入定年齢 : 1854年 入定年齢不明 出身階層 : 農民 入定方法 : 地下石

室に入定

入定動機：民衆の悩みを救い 後世の平和と安らぎを願う

山形市から国道348号線を西に1時間ほど走ると、西置賜郡白鷹町に入る。287号線との分岐点には、蔵高院の道案内の看板がある。それに従い、山奥に入っていくと、山の麓に蔵高院があり、比較的分かりやすい。ただしこの寺には常駐の住職がいないため、拝観するためには、5分ほど手前にある常安寺に、電話で事前連絡しておく必要がある。

光明海上人については、昭和10年にこの地域で大火があり、古文書などが焼けてしまったため、地元の言い伝え以外に手掛かりがなく、詳しいことは不明である。これまで見てきた即身仏は、すべてが真言宗の寺に祀られていたが、光明海上人の祀られている蔵高院だけは、曹洞宗である。ご尊体を守護すべき寺自体も、いろいろな変化に遭遇したのだろう。それでも地元には、「100年たったら掘り出してくれ」との光明海上人の遺言が伝わっており、それに基づき、昭和53年、発掘調査が行われた。光明海上人が入定した石室は、同寺から15分ほど山奥に入ったところの地中にあり、深さ110c、底辺・上面ともに60cの正方形で、自然石が積み上げられていた。発掘時のご尊体は、入定後、124年が経過しており、一部、白骨化していたという。たしかに蔵高院に安置されている光明海上人のご尊体のお顔は、他の即身仏とは違い、髑髏のような感じであった。

4. 即身仏を拝み悟ったこと

今回訪ねた即身仏の名前には、すべて「海」の字が付いていた。それは高野山の奥の院で、衆生の救済を願い、生身のまま即身成仏したという真言宗の開祖、弘法大師空海の教えを引き継ぎ、その弟子として即身仏になり、海号を授かったものであるという。

今回拝んで回った即身仏の入定年齢は、もっとも若い円明海上人が55歳であり、最高齢は96歳の真如海上人だった。20・30代はもちろんのこと、40代もいなかった。このことから、「人生50年の時代」では、50代の人間はすでに高齢者であり、今回の僧侶たちは、それぞれが人生を堪能しきり、余命の活用方法として、即身仏になることを選んだと考えられる。いみじくも海向寺の住職が、「忠海・円明海の両上人は、ともに海向寺の住職を立派に勤め上げ、50歳でその職を辞され、つまり定年退職し、その後、即身仏になるための修行に入られた。他の多くの住職もそれに倣った」と語られていたが、まさにそれはあの時代の「高齢者の身の処し方」の一つとして、入定し即身仏になる方法があったことを示している。

今回拝んで回った即身仏の入定動機は、そのすべてが、衆生の救済であった。各寺の案内書には、「即身仏は、未曾有の飢饉、天災、疫病などにより飢え苦しみ、恐れおののく人々を救うために、この世の苦悩を一身に背負い湯殿山に籠もり、木食行、断食行をして、最後には己の身と引き換え衆生救済を一心に祈願しながら土中入定をして念仏往生した」などと、書き添えられている。このような入定動機はかなり美化・誇張されていると思う。しかしすべての即身仏について、「自らの再生を願い、生き帰って来るために肉体を遺そうとした」などという記録はない。つまり衆生の救済のために、生身を捧げたことは間違いのないことである。自らの死を持って、大きな社会貢献を行おうとしたわけである。



《 湯殿山から仙人沢を望む 》

今回拝んで回った即身仏は、すべてが農民などの下層階級出身者であり、それぞれに各地で善行を積んだ後、湯殿山の仙人沢で、五穀断ち、木食行などの難行苦行を行い、即身仏になっている。今回私は、その湯殿山に登り、仙人沢を望んでみたが、予想していたほど陰阻な場所ではなかった。その上、残念ながら

湯殿山の御神域は撮影禁止となっており、のどかな風景しか撮れなかった。

今回拝んで回った即身仏は、すべて撮影禁止になっており、ここではそのご尊体を影像で紹介することはできない。しかし私は寺院で直接、鬼気迫る即身仏に直面し、拝み、その尊い志を体感し、自らの行動を律することが重要だと思う。ぜひ自らの眼で、確かめてみていただきたいと思う。なぜかネット上では、ほぼ



《 仙人沢の麓で 》

全ての即身仏の写真を見ることができる。誰かが隠し撮りでもしたのだろうか。それを拝んでも、そこからは何のご利益もないし、霊性も感じないだろうが。

以上

「モンゴルで芽生えたアメーバ経営」

社団法人大阪能率協会常任理事、順利包装集団董事（在上海）

福喜多技術士事務所所長、東アジアセンター外部研究員

福喜多俊夫

8月24日から29日まで、大阪能率協会の視察・研修旅行でモンゴルと中国（北京・天津）を訪問した。モンゴルでは在モンゴル日本大使館、モンゴル工業省、バガヌール炭鉱、カシミヤのゴビ社を訪問し、モンゴルの政治・経済情勢や主要産業の動向を勉強させてもらった。そんなモンゴルでの夕食の席で、ゴビ社のバタールサイハン社長と同席させて頂く機会があり、いろいろ話を聞く中でバタールサイハン社長が稲盛和夫氏のアメーバ経営の信奉者でこれを実践しているということが話題になった。

バタールサイハン氏は1988年、文部省の国費留学生として来日、6年間、東京電気通信大学で情報工学を学んだ。現在はタウン・ボグドグループ(Tavan Bogd Group)の代表取締役社長でカシミヤのゴビ社はグループの一企業という位置づけだ。タウン・ボグドグループは大きく4つのセクターに分かれており、その下に10社がある。なお、社名のタウン・ボグドは氏の出身地であるモンゴル北西部にあるタウン・ボグド山(4,374メートル)から取ったという。

Tavan Bogd Trade LLC (Holding Company of TB group)

*Trade and Services	Tavan Bogd LLC Tavan Bogd International LLC Tavan Bogd Foods LLC Zamine Services LLC
*Manufacturing	Ulaanbaatar Flour LLC Gobi JSC
*Bank	Khan Bank
*Tourism, Hospitality	Kempinski Hotel Khan Palace LLC Juulchin LLC Airlink Mongolia LLC

ウランバートル市内にはケンタッキーフライドチキン（KFC）の店があり、KFCはここまで進出しているのかと感心したが、聞くとこれもタワン・ボグドグループが経営しているという。また、トヨタのディーラーもしている。

バタールサイハン氏は日本留学中、また、事業を拡大していく過程で多くの日本人経営者と知り合い、現在、複数の日本企業と提携し、技術導入、商品販売のほか、人事交流も行い日本的企業経営のノウハウも吸収している。今回訪問したゴビ社も日本の株式会社ラピーヌと提携しており、ラピーヌ社の市川雅邦会長（大阪能率協会企業会員）のご尽力で訪問が実現したものである。

タワン・ボグドグループは先に示した4つのセクターで分かるように、広範囲の事業を営んでいるが、バタールサイハン氏がこの事業体をどのようにマネジメントしているかと言うことが話題となった。この時、氏の口から出てきたのが「アメーバ経営」である。

「今の事業規模でも、隅々まで私一人で管理することは出来ません。モンゴルのために私はもっと多くの事業を手掛けたいと考えています。稲盛氏のアメーバ経営を知って、これこそ私が目指すべき経営手法だと思いました」氏はこのように言って、自らのグループを小さい組織に分割し、その各組織の経営を責任者に任せて運営していると説明した。

どのように優れた経営手法でもトップの采配しだいで成果が違ってくる。アメーバ経営も小集団が自らの採算にこだわりすぎると、いわゆるブラック企業的運営に堕してしまう。

モンゴルで芽生えた「アメーバ経営」がバタールサイハン氏のもとで、どのように花開いていくのか楽しみだ。



(中央：バタールサイハン氏)

以上

上海街角インタビュー (100)

社団法人大阪能
率協会常任理事
順利包装集團董事（在上海）
福喜多技術士事務所所長
福喜多俊夫

有給休暇は全部取っていますか

厚生労働省の統計によれば、平成 25 年 1 年間に企業が付与した年次有給休暇日数（繰越日数は除く）は、労働者 1 人平均 18.5 日、そのうち労働者が取得した日数は 9.0 日で、取得率は 48.8%となっている。私もサラリーマン時代、年間 20 日の年休が付与され、1 年間繰越が出来たので毎年、年度初めには 40 日の年休があった。毎年 40 日あるということは年間 20 日以下の休みしか取っていなかったわけだ。

中国の有給休暇は労働法で、勤続 1 年以上 10 年未満は 5 日、10 年以上 20 年未満は 10 日、20 年以上は 15 日と定められている。これは法律上の最低付与日数であるが、大部分の企業は法律通りに運用しているようだ。

有給休暇の付与日数は日本より少ない（但し、転職しても勤続年数は積算される）から、権利意識の強い中国人の年休取得率は高いと思い、街場で聞いてみた。

1. 20 歳代後半の女性 広告業勤務

私は勤続 1 年以上 10 年未満なので 5 日年休がありますが、全然足りません。残すなんてことは考えられません。年休は国の休日と連続させて旅行に使っています。

2. 20 歳代後半の男性 製造業勤務

私は江蘇省常州の出身です。勤続 7 年なので年休は 5 日間しかありません。全部春節の帰省に使います。

3. 30 歳代前半の女性 日系商社勤務

私は 10 日間の有給休暇があります。5 日間は毎年家族で出かける長期旅行に使います。

今年は新疆ウイグルのウルムチからトルファンに行きました。あとの 5 日は子供の幼稚園の参観日など子供のために使います。私の同僚で独身の人は、年休は国内旅行、長い国定休日は海外旅行に使っています。

4. 50 歳代前半の男性 日系投資会社勤務

我社には国の規定の年休以外に会社の福利有給休暇があります。福利有給休暇は 1 年以上 10 年未満で 10 日間、10 年以上は 5 日間。10 年以上で 5 日間しかないのは、国の有給休暇と福利有給休暇を合わせて誰でも 15 日貰えるようにしているからです。

休みは国家有給から使っていきます。会社都合で年間の有給休暇が残った場合は、国家有給については日給の 300%が支給されます。福利有給は 5 日分だけ翌年に繰越が可能で、余った分は切り捨てになります。私は国家有給だけは全部使うようにしていますが、福利有給は残って翌年繰越の時もあります。切り捨てが発生しそうになると年度末に休みを取って使い切るようにしています。

5. 40 歳代中頃の女性 製造会社勤務

私は勤続 23 年（途中会社はいくつか替わっている）なので毎年 15 日間の有給休暇があります。勿論、毎年使い切ります。年に 2 回長期休暇をとっています。

一般に外資系の会社は年休条件がよく、社員の取得を奨励していますが、国営企業や中国資本の私企業は国の規定すら守らないところが多いです。

6. 30 歳代前半の女性 製造会社勤務

昨年からやっと 10 日間の年休が貰えるようになりました。5 日間と 10 日間では大違いです。5 日間の時は全部、子供の学校行事に取られましたが、10 日間あると少し長い旅行が計画出来ます。

7. 40 歳代中頃の男性 会社総経理

年休は 15 日間あると思うけれど、あまり意識していません。出張が多く（海外も年数回行きます）、年 1 回家族旅行をする時は年休を申請しますが、あとは殆ど休み

ません。

従業員の年休取得について、申請があれば殆ど認めますが、特に取得を奨励もしていません。

8. 20 歳代前半の女性 個人商店勤務

従業員が少ないので、普段はなかなか有給休暇が取れません。お店が長く休む春節の時にまとめて取ります。わずか 5 日しかないから、同僚と協力し合って絶対に残さないようにしています。

求人サイトを運営する「前提無憂」が行った調査によれば（人民網 2015 年 2 月 9 日の記事）、中国のホワイトカラーの多くは有給休暇の日数が 10 日以内だが、約 6 割が有給休暇を使い果たしていないという。また、未消化の有給休暇を現金で精算できる企業はわずか 9%にとどまった。記事によれば、「多くの雇用主は、年 5 日間の有給休暇に法定休日の 11 日間を足せば、ほぼ従業員のニーズを満たせると考えている。しかし、従業員の職責や分担が決まっている多くの企業では、連続して 1 週間以上の休暇を取る、あるいは 1 年以内に複数の休暇をとることは企業の運営にある程度の困難をもたらす。雇用主は、長期休暇が従業員の間で蔓延し、作業効率が下がるのを最も懸念している」これに対して、「外資系企業が提供する有給休暇は寛容的だ。有給休暇が 10-15 日と答えた人のうち外資系企業で働く人が 68%、15 日以上と答えた人のうちでは 66%を占めた」

私が話を聞いた上海人は権利意識が強いようで、ほとんどの人が有給は全部取ると答えていた。

「上海街角インタビュー」は今回で 100 回に到達しました。皆さまもお気づきだとおもいますが、最近話題を探すのに四苦八苦しています。この辺が一区切りの時期だと思い、100 回をもってシリーズを終了させていただきます。

長い間、お付き合い頂きありがとうございました。今後は、東アジアセンターの外部研究員として、興味深い話題を見つけた時に書かせていただこうと考えています。

ありがとうございました。

以上

【中国経済最新統計】

	① 実 質 GDP 増加率 (%)	② 工 業 付 加 価 値 増加率 (%)	③ 消費財 小売総 額増加 率(%)	④ 消費者 物価指 数上昇 率(%)	⑤ 都市固 定資産 投資増 加 率 (%)	⑥ 貿易収 支 (億ドル)	⑦ 輸 出 増加率 (%)	⑧ 輸 入 増加率 (%)	⑨ 外国直 接投資 件数の 増加率 (%)	⑩ 外国直 接投資 金額増 加率 (%)	⑪ 貨幣供 給量増 加 率 M2(%)	⑫ 人民元 貸出残 高増加 率(%)
2005年	10.4		12.9	1.8	27.2	1020	28.4	17.6	0.8	▲0.5	17.6	9.3
2006年	11.6		13.7	1.5	24.3	1775	27.2	19.9	▲5.7	4.5	15.7	15.7
2007年	13.0	18.5	16.8	4.8	25.8	2618	25.7	20.8	▲8.7	18.7	16.7	16.1
2008年	9.0	12.9	21.6	5.9	26.1	2955	17.2	18.5	▲27.4	23.6	17.8	15.9
2009年	9.1	11.0	15.5	▲0.7	31.0	1961	▲15.9	▲11.3	▲14.9	▲16.9	27.6	31.7
2010年	10.3	15.7	18.4	3.3	24.5	1831	31.3	38.7	16.9	17.4	19.7	19.8
2011年	9.2	13.9	17.1	5.4	24.0	1549	20.3	24.9	1.1	9.7	13.6	14.3
2012年	7.7	10.0	14.3	2.7	20.7	2303	7.9	4.3	▲10.1	▲3.7	13.8	15.0
2013年	7.7	9.7	11.4	2.6	19.4	2590	7.8	7.2	▲8.6	5.3	13.6	14.1
7月		9.7	13.2	2.7	20.2	178	5.1	10.8	1.2	24.1	14.5	14.3
8月		10.4	13.4	2.6	21.4	285	7.1	7.1	-11.7	0.6	14.7	14.1
9月	7.8	10.2	13.3	3.1	19.6	152	-0.4	7.4	-16.8	4.9	14.2	14.3
10月		10.3	13.3	3.2	19.2	311	5.6	7.5	-8.2	1.2	14.3	14.1
11月		10.0	13.7	3.0	17.6	338	12.7	5.4	-9.3	2.3	14.2	14.2
12月	7.7	9.7	13.6	2.5	17.2	256	4.3	8.6	-3.4	-42.6	13.6	14.1
2014年	7.4	8.3	12.0	2.0	15.2	3824	6.1	0.4	4.41	14.2	12.2	13.6
1月				2.5	19.8	319	10.5	10.8	-8.6	-4.5	13.2	14.3
2月				2.0		-230	-18.1	10.4	1.3	4.0	13.3	14.2
3月	7.4	8.8	12.2	2.4	17.3	77	-6.6	-11.3	6.1	-1.5	12.1	13.9
4月		8.7	11.9	1.8	16.6	185	0.8	0.7	0.5	3.4	13.2	13.7
5月		8.8	12.5	2.5	16.9	359	7.0	-1.7	8.4	-6.6	13.4	13.9
6月	7.5	9.2	12.4	2.3	17.9	316	7.2	5.5	10.3	0.2	14.7	14.0
7月		9.0	12.2	2.3	15.6	473	14.5	-1.5	14.0	-17.0	13.5	13.4
8月		6.9	11.9	2.0	13.3	498	9.4	-2.1	5.2	-14.0	12.8	13.3
9月	7.3	8.0	11.6	1.6	11.5	310	15.1	7.2	9.4	1.9	11.6	13.2
10月		7.7	11.5	1.6	13.9	454	11.6	4.6	8.7	1.3	12.1	13.2
11月		7.2	11.7	1.4	13.4	545	4.7	-6.7	-8.6	22.2	12.0	13.4
12月	7.3	7.9	11.9	1.5	12.6	496	9.5	-2.3	6.1	10.3	11.0	13.6
2015年												
1月				0.8		600	-3.3	-20.0	2.2	-1.1	10.6	14.3
2月				1.4		606	48.3	-20.8	49.8	0.1	11.1	14.7
3月	7.0	5.6	10.2	1.4	13.1	31	-15.0	-12.9	0.3	1.3	9.9	14.7
4月		5.9	10.0	1.5	9.6	341	-6.5	-16.4	2.9	10.2	9.6	14.4
5月		6.1	10.1	1.2	9.9	595	-2.4	-17.7	-14.0	8.1	10.6	14.3
6月	7.0	6.8	10.6	1.4	11.6	465	2.8	-6.3	4.6	1.1	10.2	14.4
7月		6.0	10.5	1.6	9.9	430	-8.4	-8.2	9.6	5.2	13.3	15.7
8月		6.1	10.8	2.0	9.1	602	-5.6	-13.9	23.9	20.9	13.3	15.7

注：1. ①「実質 GDP 増加率」は前年同期（四半期）比、その他の増加率はいずれも前年同月比である。

2. 中国では、旧正月休みは年によって月が変わるため、1月と2月の前年同月比は比較できない場合があるので注意されたい。また、（ ）内の数字は1月から当該月までの合計の前年同期に対する増加率を示している。

3. ③「消費財小売総額」は中国における「社会消費財小売総額」、④「消費者物価指数」は「住民消費価格指数」に対応している。⑤「都市固定資産投資」は全国総投資額の86%（2007年）を占めている。⑥—⑧はいずれもモノの貿易である。⑨と⑩は実施ベースである。

出所：①—⑤は国家统计局統計、⑥⑦⑧は海関統計、⑨⑩は商務部統計、⑪⑫は中国人民銀行統計による。